

Does peace come from learning “haiku,” the heart of Japanese culture?

7月14日の1、2年生LAC生徒対象の第1回LAC特別講座では、甲南大学国際言語文化センター中村耕二教授に主に英語を使ってご講義いただきました。国際的な視野を広げるために必要な2つのテーマを関連づけ、わかりやすく興味深く教えていただき、多くのことを学び考える機会となりました。講義の後の質疑も大変活発に行われ、改めて学ぶことの楽しさを実感できました。皆さんの感想文(抜粋)を紹介します。Let's review his lecture and be willing to learn new things!

**Globalization has caused many serious problems such as poverty, refugees, child labor etc.**

☆ それぞれ国によって格差がとても激しいと思った。日本の1週間の食料の費用が約317ドルに対して、貧しい国の人々は1ドルということを知ってとても衝撃を受けた。普段何気なく食べている食事が貧しい国では当たり前でないことを改めて知った。これからは物を粗末にしないことが大事だと思った。こうして平和に毎日を過ごせることに感謝して生活していきたい。

☆ 今日の講演を聞いて、**Globalization**が自分とどう関係があるのかがわかった。今まで何気に見ていた他国との関わりもすべて違う形で共存していることを知った。私たちが平然と過ごしている今には裏があり、常に世界は様々な危険に脅かされていることを知り衝撃を受けた。当たり前にごはんを食べ、友達と喋って、布団で寝ることがどれほど幸せかわかった気がする。ふだんあまり深く学ぶことのできない他国の状況を知り、50分間目が離せなかった。今、世界には1億6800万人の子供(9人に1人)が児童労働を余儀なくされ、60万人の子どもが少年兵になっていて、およそ4分の1が紛争に巻き込まれていると知り、心が痛い。

☆ 世界で難民や地球温暖化などの問題を解決するためにはもっとたくさんの人たちが世界の問題に興味を持ち理解し、少しでも解決できるように考え行動することが大切だと思った。日本は世界の中でもとても平和な国なはずなのに本当に少ない難民しか受け入れていない(約300人)と言われていたけど、世界には多くの困っている人がいるので今のままではいけないと思う。

☆ “Force never works, because you can never destroy the will of people and the power of people.” 「軍力で人の意志や力を破壊できない」という言葉はとてもいい言葉だと思った。原爆や爆弾を落としても建物が壊れるだけである。戦争は破壊への道に進むだけであることを戦争している人に伝えたい。

☆ 豊かな国の人々の中には、やせ細ってしまった子どもの写真や戦争でボロボロになってしまった人々の写真を辛くなるから見たくないということがあがあるが、その写真に写っている世界が本当にあるということを見過ごすことは良くないんじゃないかと思った。

What is the Heart of Japanese culture? Is it important to learn both our own culture and others?

☆ 新鮮に感じたことは、日本文化を英語で勉強したことだ。日本文化にとっても興味があり楽しく聞くことができた。”Peace comes from the heart of Haiku” という言葉に驚いた。俳句の中に日本文化が詰まっているとは知らなかった。外国人の学生が私たち日本人より俳句が上手で、私たちよりも日本文化をたくさん知っているんだなあと思った。私は高校や大学で英語や日本文化、外国文化についてたくさん学びたい。

☆ 日本の俳句を外国の人たちが作るというのは不思議だけど、外国人には外国人の良さが出ていて異国の文化を共有することで新たな発見をすることもあると思った。

☆ 俳句は他の国の人々にも受け入れられていて、英語でも楽しまれていることを知った。

☆ 世界には日本に興味を持っている人々がたくさんいるので日本の良さをしっかり伝えられるように日本の文化について学ばなければならないと思った。俳句については、世界には短い文でこれだけ想像力を高められるものがないのだと気づいて、日本人の考えはすごいと思った。

☆ 外国の人は日本の文化を積極的に学んでいるのに対し、日本人はあまり異国の文化を学ぶ意識が薄いので、もっと興味を持つ人が増えればいいと思う。

☆ 感心したのは、petals(花びら)をイギリスでは自分の恋人に使うことだ。日本では「太陽だ」「女神だ」などの比喻表現を使ったりするのでやはり似ていると思った。

☆ 自分の国の文化を尊重しつつ、他国を自分の国目線から見ないことが大切だと実感した。

☆ “You can’t deal with others without a profound knowledge of their culture, society and history.”「親しくなるには相手の文化や歴史などの知識は必要不可欠」という言葉が一番印象に残った。これからのいろいろな国の人とつながっていく中で、すぐに自分の価値観で相手のことを決めつけるのではなく、相手には相手の価値観があると考えていこうと思った。

Other opinions

☆ 今まで英語だけを勉強しておけばよいと思っていたけれど、英語だけで意味がないと気づいた。何かできるようになるためにも英語はもちろん、他の教科や他の国の情報に関心を持つ必要があると思った。ちゃんと勉強しようと思つて改めた。学ぶことが楽しくなりそう。

☆ 国際社会が抱えている問題、それに対する解決方法は、これからの私たちにとって大切なことで、関係のないことだと決めつけることはできないと思った。国際的な問題に関わっていこうと思うと、やっぱり英語は大切だと思う。

☆ この講演を聞いて、世界の抱えている問題への考えが変わった。5歳の子が飢餓や貧困でがりがりの写真を見て驚いた。日本は本当に幸せな暮らしができて国だと思うけれど、このまま自分たちだけ幸せなんて言うのは絶対だめだと思う。“We must learn to live together as brothers, or we will perish fighting as fools.”「我々は兄弟として共存しなければならない、さもなければ愚者として共に滅びるだろう」キング牧師の言葉が心に残った。(略)大学生になってアフリカや貧しい国の勉強をして自分にできることをしっかりやりたい。そのためにもっと英語を学びたい、今の社会の現状や世界で起きていることを理解したいと思った。

☆ “The present is our battle ground and knowledge is our main weapon.” (Said)「現在こそ戦場であり、知識こそ武器である」という言葉がある。この講義でまさに「学びの大切さ」を学んだ。最も心に残ったことは共存の必要性である。貧困と富裕の格差を縮めるのにあまりにも時間と労力がかかる。ただ、考えることに意味があり、自ら学ぶことに意味があるということだ。

☆ 日本にはたくさんの文化や魅力があると思うので、それをどんな国の人にも伝えられるように、自分も学びながら伝える力をつけていきたい。世界のことも日本のことも何事も知らないままだと何もできないということに気づいたので、これからたくさん学んでいきたい。

☆ 物事には必ず裏と表があるように Globalization にも裏と表があると思う。民主主義とは格差を生んでしまうものだ。それをどう縮めていくかが今までもずっと課題であると思う。先進国は発展途上国を踏み台にして発展してきたが、それはだめだとはいえないと思う。発展することで生活は豊かになる。私たちは豊かになった分、今苦しんでいる人々を支援できるということだ。

(略)今の日本人は日本という国の核を知らずに愛国心もなく自己中心的な人が多いと思う。

☆ 「学ぶ」ことが、私たち高校生ができる世界への貢献だと思った。もっと頑張ろうと思った。



